

# Let's Try!

## 資格取得チャレンジ

学生達は、自動車整備士資格のみならず、様々な資格取得を目指し日々努力している。自動車整備科1年次の2学期には、選択授業や休日を利用して資格取得にチャレンジしており、学校もバックアップを行っている。昨年も多くの学生が見事合格し資格を得ている。

資格名	合格者数及び合格率
危険物乙種第4類	84名：77.1%
フォークリフト(無制限)	62名：100%
有機溶剤取り扱い主任者	103名：100%
アーク溶接技能講習修了	90名：100%
ガス溶接技能講習修了	78名：100%
タイヤ空気充填の業務に係わる特別教育	29名：100%
中古自動車査定士	74名：97.3%



# LETTER'S from 卒業生



写真提供：日野自動車(株)  
平成18年 1級修士科3期卒  
日野自動車(株)勤務 工藤 成俊さん



アンデス山脈ペルー国境付近(標高 約4100m)にて  
ダカールラリー2009 参加中  
INFORMATION  
工藤さんは、HINO TEAM SUGAWARAのメカニックとしてダカール・ラリー2009に参加しましたが、同ラリーでは専門科21期卒業生の小林義夫さん(東京トヨペット)もチームランドクルーザーのメカニックとして参加されました。詳細は次号で紹介いたします。

1級修士科3期を卒業後、日野自動車(株)に入社し、現在は海外部品サービス部の人材開発グループに所属しています。そこでは、海外代理店からの研修生に対し、新装置の機能・構造やメンテナンス方法を教える研修をしたり、直接海外に出張し現地の代理店で研修を行ったり、お客様を訪問しお客様の目の前で車両点検などを行って見せ、お客様にも挑戦して頂き、メンテナンスの大切さを理解して頂く様な出張研修も行っています。会話は勿論英語です。

初めは、研修生と言葉の壁があり、コミュニケーションが取れず、一つの事を理解して頂くのにも凄く時間が掛かりました。その中で、私を助けてくれたのは、在学中にレポートに飽きるほどに書いたスケッチでした。入学当初はスケッチが多く、美術を勉強しに来たんだっけ!と思う事もしばしばありました。今、私はそのスケッチに非常に助けられています。絵を通して研修生は理解してくれるし、そこから、コミュニケーションに発展し、新しい英語の言い回しを覚える事が出来ています。想像してみてください。車を全く知らないお客様に対して、話だけで商品や、作業内容を理解して頂けるでしょうか。皆さんが身に付けている知識は、最高峰の知識と技術ですよ!

そして今年、ダカールラリーにメカニックとして参加する事が出来ました。参加車両に不具合が発生し、その原因や対処法等を砂に絵を書いて説明する事でコミュニケーションを取り、他のメカニックを納得させる事が出来、作業をスムーズに運ぶ事が出来ました。その時「レポートでスケッチがあつて良かった」と本当に思いました。在校生・卒業生の皆さん、「絵を描ける」という武器を他校生よりも一つ多く持っていることは間違いなく強みですよ!絵を描けるっていいこと、自分が構造・作動を知っている裏付けにもなります。在校生の皆さん、日々のレポートは大変です。(私も大変でした)でも、スケッチを侮らないうで下さい。何時かコミュニケーションを助けてくれますよ。また、卒業生の皆さんはこれから更に学ぶ事があると思います。どうか簡単な絵を添えて下さい。そして、今以上に自動車の事を「貪欲」に学んでください。皆様の活躍、期待しておりますし、応援しています!

# “自信を持って新しい道へ”

皆さんは若さに溢れた今、心身とも健康で充実した日々を送りたいと思つて頑張つていらつしやることでしょうか。しかし、何か問題にぶつかったり体調を崩した時などに気持ち落ち込み「自分はダメな人間だ」と不安になり、友人や周囲の目を気にして自分を見失い、ネガティブな感情に振り回されてしまつたという経験はありませんか? そんな時、自分の気持ちをコントロールし、プラス思考に変えて自信を持って行動できる良い方法は無いものでしょうか?

人間誰でも、子供の頃には気が付かなかった自我意識が大人になるに従って確立されて、「自分」の心の仕組みを観察するようになります。自分の心の中に「見る自分」と「見られる自分」という両面が存在することに気が付くのです。

しかしネガティブな状態になると、この心の仕組みが混乱し、自分が習慣として持っている感情や考え方がなつてしまひ、苛立ち、自分を責めて落ち込んだ状態になつてしまひます。そこでこの状態をただマイナスイメージとして捉えるのではなく自分の心の仕組みを転換するチャンスと意識を変えて、「見る自分」の面では冷静に問題解決に取り組み、行動できる自分として良い面に目を向けて、肯定的に受け入れて自信に繋げていくと「見られる自分」の面も他人の目を気にすることなく、周りにも振り回されることのない強い気持ちを持つようになります。

このように自分を客観的に捉えることが出来る他者の心の動きも冷静に見るゆとりが出来て、良い人間関係を保ちながら自分がプラスになることとマイナスになることを選択して自信を持って行動できるようになるのです。皆さんも卒業して社会人になつても、進級して新しいクラスになつても、自分を見る目をしっかりと開き、厳しく見る点とおおらかに「まあいいさ」と認める点をバランスよく持ちながら自信を持って新しい道へと進んでいきましょう。田舎の良さや都会の良さを感じることも、気持ちの充電に必要なと思う年齢になつたのかな?(分)

## 学園祭募金活動結果報告

交通遺児育成基金・緑の募金へ

昨年11月1日・2日に開催された学園祭にて募金活動を行った。担当クラスの学生が実際に募金箱を持ち集めた募金と、チャリティーバザー及び各クラブ有志によって行われた模擬店等の収益金が募金として寄せられた。

この募金は、12月8日財団法人交通遺児育成基金に贈られた。当日は学園祭企画委員長の

田中達也君と募金担当の鈴木健大君が育成基金事務局を訪問し、寄せられた二十万四千六百八十四円を手渡し同事務局より感謝の言葉を頂いた。

また今回の学園祭のテーマであった「環境」という観点から、緑の募金(東京緑化推進委員会)の活動も同時に行い九万五千九百三十三円が集まりこちらも募金した。

募金活動お願いしま〜す

## 見学してきました

東京オートサロン in 幕張メッセ



1級自動車科3年生と研究科生は、1月10日に幕張メッセで開催された東京オートサロンの見学に行きました。年々来場者数が増え、朝9時の開場前から多くの人の列が出来ておりこのイベントの認知度の高さが分かります。各自動車メーカーは、かなり力を入れて来ており、有名レーシングドライバーのトークショーやスクリーンを使つてのショーなど宣伝戦が凄く、各社のカスタマイズカーの周りにはどこも人だかりができていました。

## 編集後記

東京に出て来て早いもので丸6年になる。最近故郷である栃木に帰ると非常にホッとすることがある。帰省途中に学生時代にあまり好きではなかった田園風景などの自然が広がつてくると気持ちが癒され「故郷はいいものだなあ」と感じている。また、住んでいた頃にはあまり行きたいと思わなかった場所に妙に惹かれて出かけてみると、新しい発見があったり、面白さがあったりと地元の良いところが今頃気がついている。これが最近の帰省した時の楽しみになつて来ていると共に、「明日からまた頑張つて仕事しよう」という気持ちにさせる。田舎の良さや都会の良さを感じることも、気持ちの充電に必要なと思う年齢になつたのかな?(分)